



Vol.4

イクジイが日本を元気にする。

毎月1回連載

育G新聞編集部 編集協力：
NPO法人 ファザーリング・ジャパン
NPO法人 孫育て・ニッポン

育G インフォメーション

イクジスクール開講

- 【日程】・7/9（月）
『創続のすすめ』
・7/23（月）
『セカンドキャリアで社会貢献を（仮）』
【時間】午後6時30分～午後8時30分
【参加費】各3,150円
【場所】東京都中央区
京華スクエア・ハイテクセンター
【対象】子育て、孫育て、社会貢献に
関心のある男性
【主催】特定非営利活動法人
ファザーリング・ジャパン
詳細→ www.fathering.jp/ikuji/school

NPO法人 孫育て・ニッポン 会員募集中！

家庭や地域で「孫育ての笑」を広げる仲間
を募集しています。孫の有無、年齢、性別は
問いません。

詳細→ www.magosodate-nippon.org/

★育G発見★

No.4

NPO法人 KIRALi 代表理事
福井正樹さん

プレイクジイである福井正樹さんは、
平成23年6月に鳥取県で社会問題の解決を目的とした
ソーシャルベンチャー・NPO法人 KIRALi を設立。
鳥取県の子育て、地域問題などに取り組み、
楽しく暮らしやすい町作りに奔走している。

「あなたのやりたいことは、こういうことじゃないの？」ある日、妻が差し出した新聞には、病児保育に取り組むNPO法人フローレンス代表の駒崎弘樹氏の記事が載っていました。身近にある社会問題の解決を目的として収益事業に取り組む「ソーシャルビジネス」。「これだ！」と思いました。

出版社に勤務していた頃は保育制度も整っておらず、発熱した娘を連れて、会社に行ったこともあります。子育てを通じ、PTAや地域と関わりながら学んだ経験、また社会学研究者として得た知識を生かして、自分にできることがあるのではないかとずっと考えていました。

51歳から準備を始め、55歳でNPOを設立。企業で働いていたら定年は避けられませんが、NPOの代表には定年はありません。自分が働きたいと思えば、社会の役に立つ仕事をいつまでも続けることができます。60歳からのソーシャルベンチャー、いいかもしれません。「経験」「お金」「時間」と三拍子揃っている人が、自分たちの身近な社会問題に取り組んだら、日本は必ずもっと良くなっていくでしょう。

この4月、NPO法人KIRALiでは、病児病後児保育を立ち上げました。人口が一番少ない鳥取県で行うには厳しいと



言われています。でも、共働き家庭で祖父母に頼ることができずに困っているママ・パパを救いたい。一番難しい鳥取でやっていくことができれば、日本全国どこでもできることが証明できます。

そのほか、現在は高齢者へのお弁当の宅配事業を兼ねたコミュニティ食堂、中高年のたまり場であるライブハウスなど、場所作りにも力をいれています。将来的には、育Gの得意分野を生かした場所作りもしたいですね。

孫を連れて旅へ出よう

旅は孫連れ

—さくらんぼ狩りへ Let's Go! —

子どもの成長とともに、家族旅行はもちろん、家族で出かける機会もほとんどなくなるが、孫が生まれると急に「家族の時間」が増えるから不思議だ。

孫が小さいときのお出かけは、ママ・パパがいないと、おっぱいやオムツの交換などハードルが高いが、言葉が通じる3歳を過ぎる頃から、「じいじとのお出かけ」と



いう至福の時間を楽しむことができる。ばあばは、どちらかというと指導官になりがち。しつけや教育に口を挟むことが多いので、孫からすればじいじこそ、自分を100%受け入れてくれる最強の見方だと思っていることが多いようだ。ママ・パパ・ばあばの前では、思う存分甘やか

すこともできないが、孫とふたりで出かければ、彼らの目を気にすることもない。

孫とのお出かけスポットとしておすすめなのは、「食べる」「遊ぶ」「食べ見がある」ところ。なかでも、これら旬をむかえるさくらんぼ狩りなどは、小さな子どもも「とりやすい」「食べやすい」からイチオシ。

実際さくらんぼ狩りに来ていたじいじに話を聞いてみると、「我々夫婦で来るよりも、孫と一緒に来た方が楽しいですね。大人同士だと、『こっちの方が甘いぞ』くらいしか会話もありませんが、孫はいろいろなことに興味を持つので、会話も増えるし、勉強になります。自分の経験でわかることを教えてあげられるのも、嬉しいですし、自分の知らなかった新たな世界を発見し、勉強することも多々あります。私は平日時間ががあるので、孫とゆったり過ごすことができますが、親が子どもを連れ出す週末は、道路も果樹園も混んでいるから、今日のようには自由に走り回ったりすることもできない。場所も心もじいじとのお出かけはゆとりがあり



ますね。孫の友だちも一緒に、実は楽もできるんですよ。ふたりでよく遊びますからね」(高橋勝彦さん)。

孫の陽太郎くんと、舞ちゃんの姿を目で追う高橋さんのまなざしはいつも穏やか。陽太郎くんのやんちゃぶりや、舞ちゃんのかわいい仕草も、じいじと一緒にだけに見せる特別なものなのかもしれない。

孫とのお出かけのポイント

持ち物は少なめに。必要なものはコンビニなどで調達すべし。今日の持ち物 → ティッシュ、水筒



高橋勝彦さん 陽太郎くん(5) 永井舞ちゃん(3)
取材協力: 神町りんご研究所

山形県観光情報

さくらんぼ狩り

全国生産量のおよそ7割を占め、初夏の訪れとともに可愛らしいルビー色の実を付ける山形県の小さな恋人さくらんぼ。7月上旬までが狩り時です。是非お孫さんを連れてさくらんぼ狩りに出かけてみてはいかがでしょうか。

お問合せ → やまがた観光情報センター (023-647-2333)



蔵王の空中散歩

青葉若葉が美しいこの季節、孫を連れて、蔵王ロープウェイに乗って空中散歩しませんか。山麓をトレッキングした後は、温泉宿でゆっくり一泊するのもオススメ!

お問合せ → 蔵王温泉観光協会 (023-694-9328)

